

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和5年度 第8号 R5.9.22 (金)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「体育大会目前」

2学期が明けて約3週間の間、三中学生の学校生活は体育大会一色に染まっています。15日(金)には、各学級の旗が仕上がり、玄関ホールに飾られました。クラスカラーのキャラクターや担任の似顔絵など、各学級が趣向を凝らし、今年も力作揃いです。夏休みから準備していた応援団の練習も佳境に入っています。吹奏楽部はファンファーレと校歌の練習に精を出しています。生徒会長は開会式で何を話すか考えています。熱中症予防のため、団体種目の「玉入れ」と「大縄跳び」は各学年別日に行うことになりました。自信のあったクラスはショックだったようです。それでも萎えることなくみんなで声を掛けながら練習しています。本校の561名の生徒全員が「運動が好き」というわけではありません。しかし、それぞれがそれぞれの想いで、自分にできる精一杯を尽くし、この体育大会に気持ちを向けている様子がよく分かります。23日の体育大会、みんなが全力を出し切れますように。

「学年種目」

午後からの見所である学年種目は、1年生「龍の背渡り」、2年生「バンブーサーフィン」、3年生「全員リレー」です。スクールボランティアの大学生が練習を見て泣きそうになったと話していたのですが、各学年とも練習の後、クラスで何度も作戦を修正しながら本番を迎えます。そうやって積み重ねてきたことで、当日の感動は何倍にもなることでしょう。

「テント」

秋だということにいつまでも暑い日が続いています。体育大会は普段屋外で活動することが多い生徒ばかりではなく、全員が参加しますので、熱中症対策として、生徒の応援座席にテントを立てられないかという意見が出ました。勿論立てられたら良いに違いないのですが、新たにテントの確保や設置作業の問題が持ち上がりました。本校の通常学級は15クラスあり、1クラスに1張りと考えても、15張り必要です。本校がいつも本部に立てている通常のテントは骨組みから作るの、3張り程度でも結構手間が掛かります。それを5倍以上設置するとどのくらい時間を要するのか、誰がいつ設置するのか。6mの大型ワンタッチテントを複数持っている規模の大きい学校はないかと考え、近隣の府立藤井寺高等学校、藤井寺支援学校、藤井寺工科高校に連絡したところ、快く十分な数を貸していただける運びとなりました。本当に感謝します。しかし、運搬や設置は簡単なことではありません。来年も継続する必要があるかも含めて、設置することのメリット・デメリットを充分検証したいと思います。皆さんもそのような視点でテントを観察していただければと思います。

「徒歩での来場にご協力を」

校内の駐輪スペースをメジャー片手に長さを測りながら、何台自転車を置けるか計算しました。電動自転車はハンドルが固定されるので横50cm縦180cm必要です。緊急車両の通路を確保し、人の通路を最低限にして、レイアウトを工夫しても500台は置けません。自転車通勤の教職員の32台も別の置き場を考える必要があります。このような状況であることを理解していただき、可能な限り徒歩でのご来場にご協力をお願いいたします。